

吾輩の医学図書館潜入レポート

吾輩は医学図書館周りを巡回する猫である。

毎日毎日昼も夜も図書館を利用する人たちの出入りを見ていると、吾輩もちょっくら覗いてみたくなったんで、先日図書館員の目を盗んで潜入したんだにゃ。以下は吾輩の突撃レポートにゃり。是非目を通してみてくれにゃり。



玄関を入ると右手にカウンター、左手に情報検索コーナー、そして目の前には自動入退館装置。まずは、学生証を入館ゲートに通すだにゃ。図書館利用の第一歩にゃり。

カウンター

図書館職員がいるので、図書や雑誌のありかがわからない、コンピュータがうまく使えない、またまた蛍光灯が消えてるんだけど、ってなことまで、とりあえず何でも言える場所。気軽に話してみるだにゃ。

情報検索コーナー

医学図書館のホームページから、データベースを利用したり、電子ジャーナルをダウンロードしたり、調べものができるんだにゃ。

自動入退館装置

医学図書館は、手続きをすれば夜間の特別利用ができる。そのためにも入退館装置が必要なんだにゃ。

入館ゲートを通ると正面は雑誌閲覧室。おっとその入口付近にOPAC (オーパック)と呼ばれる医学図書館蔵書検索用パソコンが2台並んでいるのを確認するにゃ。

さて、雑誌閲覧室に入るだにゃ。

OPAC (オーパック) 医学図書館蔵書検索用パソコン

図書名や雑誌名を入力することでその資料が医学図書館にあるのかわかるのか、あるんだとしたらどこにあるのかわかる。

画面の「目録検索」を実行して、キーワードに何か入力してみるだにゃ。「一覧表示」をして、雑誌の所蔵が

図書館 1998-2003 / 21-25, 26(1-5)+

になっていれば、この発行年のこの巻号の雑誌がある、ってことにゃり。

雑誌閲覧室に入ると右手に閲覧席，左手に電動書架がずらり。
さ，目指す雑誌を探してそりそり・・・



雑誌

入口側の書架には，和雑誌（日本語で書かれた雑誌）が五十音順に，奥の書架には，洋雑誌がアルファベット順に並んでいる。

電動書架の1列目から正面の書架は，今年発行された新しい雑誌にやりよ。さらに今週受入れた最新の雑誌は正面のブックトラックに並んでいるから要チェック！

<ここで注目！>

この1階にあるのは1987年以降に発行されたもの。それ以前のは2階。ない～！！って叫ぶ前に発行年を確認してみることにゃ。

目指す論文ゲート！コピーしたいと思ったら・・・

文献複写

校費による複写は雑誌閲覧室つきあたりの複写機，カラー複写機が使える。

私費による複写は，カウンター隣の複写室でコピーができるんだにゃ。

<ここで注目！>

た・だ・し，著作権法により，図書館でコピーできるものは図書館の蔵書に限ること（ノート類はだめだにゃ！），それから，必ず申込書を書くこと（図書館員がチェックするにゃ！）になっているから，お忘れなく。

以上，図書館1階の潜入レポートだったにゃり。次はいよいよ禁断の2階へ・・・って違うか。赤じゅうたんの階段，爪でひっかかないように気をつけないとにゃー。



はい，こちら2階にゃり。

階段を上がるとすぐ右手が図書閲覧室入口。左手が参考図書室，目の前のブラウジング・コーナーでは皆さん気分転換ってとこかにゃあ。

ブラウジング・コーナー

教養雑誌，新聞，教養図書が置かれているんだにゃ。学問も大切だけど，今，世界で何が起きているかも知ってないとにゃー。井の中の猫ってか。あ，こりゃまた吾輩としては低レベルなしゃれときたもんだ。情報検索性用パソコンもあるにゃ。

まず図書閲覧室へと。

さっき、OPACで図書を所在表示してみると、「2F 図書閲覧室」って出たのがここにゃ。いや～なんだか図書がぎっしり。探すの大変そうだにゃあ～。

図書閲覧室の中は、手前が一般教育図書、向こう側が医学関連分野図書。本の並び方は、「図書分類」に従って左上から \\\ 並んでいるんだにゃ。「図書分類」は書架にはりつけてあるにゃ。

図書分類

医学関係はQH→WZ までである。例えばQS は人体解剖学、WA は公衆衛生って感じだにゃ。(WY (看護学)、WZ (医学史) は一般教育図書の終わりから並んでいるにゃ)。

OPACで、所在表示2F 図書閲覧室、請求記号WY18.2||1998 出てきたら、この部屋のWY18.2の場所の、1998年発行の場所を探せばいいんだにゃ。簡単だにゃ～。ん？借りたい？じゃ借り方は後から1階で教えるにゃ。

おっとこの手動書架のことを忘れていたにゃ。これが、1986年以前発行の雑誌だにゃ。さっき、1956年発行のNATUREを覗いていたら吾輩の産まれた頃を思い出したにゃりよ。あのときゃ、まだ人類は月にも行っとらんかったんにゃからのう。ん？お前の年はいくつだって？それは秘密にゃりよ。

ここは、参考図書室だにゃ。ここには、視聴覚資料も置かれている。それから、個室視聴覚室、グループ視聴覚室、医学資料室があるんだにゃ。

参考図書室

参考図書とは、調べものをするための道具類のことだにゃ。一般的な辞典・事典類、統計書、など。医学関係の参考図書は図書閲覧室のそれぞれの分類のところにあるんだにゃ。ちなみに、一部国試対策用問題集もあるから使ってみることだにゃ。

視聴覚資料

ビデオ、CD、CD-ROM、DVD、スライドなど。NHK教育で人気シリーズの“ER”のDVDも人気だにゃ。

これで2階のレポートを終わるんだにゃ。音を立てずに歩くのは得意なのだにゃ。



さっき図書閲覧室で見つけた図書を借りるんだったにゃ。

医学図書館では、自動貸出返却装置(通称パルス君)を使って借りるんだにゃ。きちんと手続きをとらないと、お互い困るし、出口で「ピー！！」ってゲートがしまるんだにゃ。

自動貸出返却装置

借りる時は、学生証をカードポケットに読み込ませて、借りたい図書のバーコードを読み込ませる。その後、学生証を抜けば返却期限の書かれた紙が出力されるんだにゃ。

返す時は、同じように学生証をポケットに入れ、図書のバーコードを読み込ませる。学生証を抜いて、図書を返却ポストに入れる。これで終わりだにゃ。

でも、視聴覚資料や、製本雑誌などはこの装置では手続きができないからカウンターで手続きをとるんだにゃー。

借りることができる冊数、期間

1人5冊までで、図書、製本雑誌は1週間。新着雑誌は1夜貸出できる。期限を守らないと、遅れた日数分だけ借りられなくなるから要注意だにゃ；・

さ、後は、あそこにいる図書館員Sさんに気づかれないように抜き足、差し足...

おーっと、カウンターには学生Fくんと図書館員Sさんが何やらパソコン見ながらうなずいてるにゃー。

どうやら医学図書館ホームページの利用についての話だにゃ。

そうそう、吾輩の聞き耳情報によれば、医学図書館ホームページから、電子ジャーナルやら、情報検索やら、複写申込やら、いろんなことができるそうだにゃ。

電子ジャーナル

インターネットを經由して閲覧できる雑誌。医学系を中心に約3200タイトルの電子ジャーナルを閲覧できるんだにゃ。

情報検索

読みたい論文がどの雑誌に掲載されているのかなどを調べるときにデータベースを利用するんだにゃ。

PubMed・医中誌Web・CINAHL・EBMR・UpToDate・JCR など

複写申込

読みたい論文の掲載されている雑誌が医学図書館にないときもあきらめることはない。図書館は世界の図書館とつながっているんだにゃ。図書館に申し込めばその雑誌を持っている図書館に複写申込をしてもらえる。お金はかかるけどにゃ。例えば1枚35円+郵送料ってとこだにゃ。とにかく、まずはホームページから複写申込をするための手続きをカウンターで取るんだにゃ。



皆の衆，吾輩の医学図書館潜入レポートはいかがだったかにゃ？

医学図書館は見掛けは小さな建物だが，情報ネットワークでつながっているから，できることはこれ以外にもいろいろあるんだにゃ。まずはカウンターの図書館員に尋ねることだにゃ。それじゃ，皆の衆の充実した図書館ライフを祈って！ にゃ~~~~~ん！！

だけど，吾輩は，もう図書館には入らないにゃ。吾輩は調べものが大好きなんじゃが，どうしても図書館員Sさんが苦手でにゃあ。ありゃ怖いにゃあ。後は皆さんの突撃レポートを楽しみに待ってるにゃん。



手に入れた地図は次ページを見て。

こんな医学図書館で，私たちスタッフが皆さんの利用をお手伝いします。気軽に声をかけて下さい。待っています。



M.KIMURA



T.YASUNO



T.KUBO



H.TOCHIKAWA



M.SHIMIZU



M.YAMADA



C.SHIMIZU